

## 2020年度予算で実現した主な取り組み

### 小児がん、予防接種の再接種費用を助成します！

小児がんの治療では、長い入院生活や通院生活を余儀なくされ、家族にも医療費を含め多くの負担がかかっています。さらに小児がんの治療で骨髄移植を受けると、予防接種で得られたワクチンの抗体を失うことが多く、再度ワクチンを接種する必要があります。しかも、再接種の費用は20万円程度で、全額自己負担となっています。



昨年、公明党大和市議と共に、骨髄移植を受けた娘さんを持つ保護者から「再接種の助成制度を作ってほしい」との切実な声を伺いました。この声を受けて、助成制度の実現に向け、市議会と県議会で動きました。

その結果、大和市では2019年10月に助成が始まりました（同年4月1日以降に再接種した人も対象）。

一方、県議会では、私が昨年9月の本会議で代表質問に立ち、黒岩祐治知事に実情を伝えるとともに、「先駆けて県として制度を作っていくべき」と強く訴えました。

その結果、2020年度予算に助成制度が盛り込まれ、再接種の費用を助成する市町村に対し、県が半額を補助することになりました。

### 県立特別支援学校の通学支援を拡充します！

高等部知的障害教育部門においては、重度かつ重複障がいのある生徒が増加しており、学びの保障の観点からも、一層の通学支援が求められています。そこで、私は昨年9月の本会議で、スクールバスの増車を含む、通学支援の充実を求めました。

その結果、県は2020年度予算で、県立特別支援学校の高等部知的障害教育部門の生徒のうち、自力通学が困難であっても支援があれば通える生徒に対して、通学の見守りと支援を行う通学支援員を増員配置し、路線バスを利用した通学支援を強化します。

また、通学支援員がいても公共交通機関での通学が難しい生徒に対しては、スクールバスの利用を拡大するため、登校便を9校で10台増車します。

### 私立高校等の授業料無償化が広がります！



公明党県議団は教育費の負担軽減に取り組み、神奈川県では国に2年先駆けて2018年度から年収約590万円未満の世帯を対象に、県内私立高校等の授業料を実質無償化しました。

その後、中間所得層や県外通学世帯への無償化の拡大や、教育費負担の大きい多子世帯への補助の充実をめざし記事と論戦を展開してきましたが、2020年度から授業料の実質無償化を年収約700万円未満の世帯まで広げるとともに、住民税非課税世帯の入学金を実質無償化します。

また、2020年度からは国の制度として年収約590万円未満世帯に対し、私立高校等の授業料実質無償化が始まりました。こちらの制度は、県外の私立高校等に通う場合にも適用されます。

経済的な理由で県・市立高校を志望していたにもかかわらず受験に失敗し、やむなく私立高校に通っている生徒も少なくありません。教育無償化のさらなる充実をめざし、これからも努力を続けます。

## Profile

### 谷口 和史 プロフィール

- 1962年 和歌山県海南市生まれ
- 1981年 和歌山県立海南高校卒業
- 1983年 大阪外語専門学校卒業
- 1988年 創価大学文学部社会学科卒業（在学中にアリゾナ大学に留学）
- 1989年 ロイター通信社入社（経済記者・ロイターテレビ日本語副編集長を歴任）
- 2005年 衆院選初当選（比例区・南関東ブロック）
- 2006年 総務大臣政務官
- 2008年 国土交通大臣政務官
- 2011年 神奈川県議選初当選（大和市選挙区）
- 2015年 神奈川県議選2期目当選
- 2019年 神奈川県議選3期目当選

### 県議会

環境農政常任委員会

かながわグランドデザイン調査特別委員会

### 党役職

公明党 神奈川県本部 幹事長

### 県議会控室

〒231-8588 横浜市中区日本大通1  
神奈川県議会公明党控室

TEL: 045-210-7630

FAX: 045-210-8912



- ブログ  
<https://blog.goo.ne.jp/kazufumi-taniguchi>
- facebook  
<https://www.facebook.com/kazufumi.taniguchi>
- ツイッター  
[https://twitter.com/kazu\\_taniguchi](https://twitter.com/kazu_taniguchi)
- 谷口かずふみ 県政報告サイト  
<https://www.kazufumi-taniguchi.com>